



平成 30 年 12 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング  
(JASDAQ コード : 3350)  
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久  
電 話 050-5835-0966

(訂正)「合同会社への出資及び固定資産の売却に関するお知らせ」の  
一部訂正について

平成 30 年 11 月 26 日に発表いたしました適時開示資料「合同会社への出資及び固定資産の売却に関するお知らせ」につきまして、一部誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。訂正済みの開示用資料を、別添として添付致します。

記

1. 訂正理由

下記の理由により訂正いたします。

- ① 関係当事者が追加されたため、その者の情報の記載の必要が生じたため。
- ② 関係当事者について、一部記載の変更と追加情報の記載の必要が生じたため。
- ③ その他文言について事実関係をより明確に表現するため。

2. 訂正箇所

- ① 「前文」の 2 行目
- ② 「1. 出資の経緯」の 7 行目以降
- ③ 「1. 出資の経緯」の欄外
- ④ 「2. 出資のスキーム」の 1 行目以降
- ⑤ 「2. 出資のスキーム」の「①グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社」の「(3) 代表者の役職・氏名」
- ⑥ 「2. 出資のスキーム」への「②グリーンオーク リアル エステート エルピー」の追加

- ⑦ 「2. 出資のスキーム」の「②合同会社きよみインベストメント」の「(6) 匿名組合出資者」
- ⑧ 「2. 出資のスキーム」の「②合同会社きよみインベストメント」の「(6) 匿名組合出資者」の欄外
- ⑨ 「3. 当社が所有する広島市の土地の売却」の4行目以降
- ⑩ 「3. 当社が所有する広島市の土地の売却」の欄外

3. 訂正内容（下線部は訂正箇所を示します）

- ① (誤) ホテル6棟

↓

(正) 最大6棟のホテル

- ② (誤) そこで当社は、ホテル事業の拡大をさらに加速する手段として、グローバル及び日本市場において不動産事業を手掛けるグリーンオークと共同で、SPCを設立、出資することを決定いたしました。このSPCの目的は、ホテル事業用不動産を購入し、ホテルを建設することです。本SPCには、当初グリーンオークと当社がそれぞれ13億円と約1.4億を出資し、最終的にはそれぞれ50億円と555,555,555円を出資いたします。この資金は、広島を含むホテルの取得・建設資金に充当する予定です。また、当社の連結子会社である株式会社レッド・プラネット・ホテルズ・ジャパン（以下「RPHJ」と言います。）がホテル施設を賃借し、運営を行っていく予定です。

さらに、上記SPCは、各ホテルの建設に合わせて金融機関からノンリコースローン  
を調達していく計画を立てております。当社のこれまでの実績に照らし合わせ、75%  
のレバレッジが可能な場合は、ノンリコースローンで約167億円の調達が可能になる  
ため、今後2年間で6棟の新ホテル開発資金に充てる資金は、総額222億円となる予定  
です。

↓

(正) そこで当社は、ホテル事業の拡大をさらに加速する手段として、グローバル及び日本市場において不動産投資事業を手掛けるグリーンオークグループと共同で、SPCに出資することを決定いたしました。このSPCの目的は、ホテル事業用不動産を購入し、ホテルを建設することです。本SPCには、当初、グリーンオークが運用するファンドと当社が、それぞれ13億円と約1.4億を出資し、最終的にはそれぞれ50億円と555,555,555円を出資する予定です。この資金は、当社及びグリーンオークによる審査及び承認を得ることを前提として、広島を含むホテルの取得・建設資金に充当する予定です。また、当社の連結子会社である株式会社レッド・プラネット・ホテルズ・ジャパン（以下「RPHJ」と言います。）がホテル施設を賃借し、運営を行っていく予定です。

さらに、上記SPCは、各ホテルの建設に合わせて金融機関からノンリコースローン  
を調達していく計画を立てております。当社のこれまでの実績に照らし合わせ、約

75%のレバレッジが可能な場合は、ノンリコースローンで約167億円の調達が可能になるため、今後2年間で最大6棟の新ホテル開発資金に充てる資金は、総額222億円と想定されます。

③ (誤) 該当無し

↓

(正) 平成30年11月26日付で匿名組合出資を実行

④ (誤) 当社及びグリーンオークが、新たに設立されたSPCであるきよみインベストメント (以下、きよみ) と匿名組合契約を結び、前述のと通りの金額の割合できよみへの匿名組合出資を行います。

その後、新たなホテルが建築される度に、前述のSPCの子会社となる個別の合同会社を設立し、きよみが匿名組合契約を通してそれらの合同会社への出資を行います。各ホテルの合同会社では、匿名組合出資からの資金のほか、金融機関からのノンリコースローンを活用し、レッドプラネットブランドのホテルを建築します。

当社の連結子会社であるRPHJは、それぞれの新ホテルを賃借し、運営します。各合同会社は、したがって、RPHJから定期的に賃借料を受領します。きよみは、各ホテルの個別の合同会社の収益から匿名組合出資の配当を受け取ります。きよみは、さらに、当社とグリーンオークに対して、匿名組合出資の出資比率に応じた金額を配当として支払います。

当社とグリーンオークは合弁出資を上記の金額を超えて拡大することを選択でき、その決定は上記の資金がすべて投資された後に行われます。

上記のスキームにおいて、当社は、主にホテル用地の取得及び開発に責任を持ち、一方グリーンオークは、投資ストラクチャーの管理と運営及び本件投資において必要となるノンリコース借入金の調達を主に行います。

RPHJによるそれぞれのホテルの賃借期間は20年を予定しており、満了時には賃借の再契約に向けての協議を持つこととなっております。

なお、グリーンオーク及びきよみの概要は下記のとおりであります。

↓

(正) 当社及びグリーンオークが運用するファンドが、新たに設立されたSPCである合同会社きよみインベストメント (以下、「GKきよみ」と言います。) と匿名組合契約を結び、前述のと通りの金額の割合でGKきよみへの匿名組合出資を行います。

その後、新たなホテルが建築される度に、GKきよみの関連会社となる個別の合同会社を設立し、GKきよみが匿名組合契約を通してそれらの合同会社への出資を行います。各ホテルの合同会社では、匿名組合出資からの資金のほか、金融機関からのノンリコースローンを活用し、レッドプラネットブランドのホテルを建築します。

当社の連結子会社であるRPHJは、それぞれの新ホテルを賃借し、運営します。各合同会社は、したがって、RPHJから定期的に賃借料を受領します。GKきよみは、各ホテルの個別の合同会社の収益から匿名組合出資の配当を受け取ります。GKきよみ

は、さらに、当社とグリーンオークが運用するファンドに対して、匿名組合出資の出資比率に応じた金額を配当として支払います。

当社とグリーンオークは合弁出資を上記の金額を超えて拡大することを選択でき、その決定は上記の資金がすべて投資された後に行われます。

上記のスキームにおいて、当社は、主にホテル用地の取得及び開発に責任を持ち、一方GKきよみ及び各ホテルの個別の合同会社から投資一任業務を受託するグリーンオークは、投資ストラクチャーの管理と運営及び本件投資において必要となるノンリコース借入金の調達を主に行います。

RPHJによるそれぞれのホテルの賃借期間は20年を予定しており、満了時には賃借の再契約に向けての協議を持つこととなっております。

なお、グリーンオークは、グリーンオークグループにおける日本での投資拠点であり、金融商品取引業登録（関東財務局（金商）第2213号）、総合不動産投資顧問業登録（総合-第112号）に基づき、主として、米国人であるグリーンオーク リアル エステート エルピー（以下、「GOLP」と言います。）が組成するファンド資金を活用して、日本における投資運用活動を行っております。GOLPは、米国、欧州、アジアにおいて、不動産関連資産を対象とした投資ファンドを多数組成しており、現在、アジアにおいては、「GreenOak Asia Fund II」（エクイティー規模 6億55百万米国ドル）を運用中です。

なお、グリーンオーク、GOLP及びGKきよみの概要は下記のとおりであります。

⑤ (誤) ①グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社

(平成 30 年 9 月 30 日現在)

(1) 名称	グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目2番地3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 <u>ダニエル・クリーブス</u>

↓

(正) ①グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社

(平成 30 年 9 月 30 日現在)

(1) 名称	グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目2番地3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 <u>シュミット・フレデリック・カツロ、</u> <u>ダニエル・クリーブス</u>

⑥ (誤) 該当無し

↓

(正) ②グリーンオーク リアル エステート エルピー

(平成 30 年 9 月 30 日現在)

(1) 名称	<u>グリーンオーク リアル エステート エルピー</u>
(2) 所在地	<u>登記所在地：</u>

	アメリカ合衆国デラウェア州 19801, ウィルミントン、オレンジストリート 1209、コーポレーション・トラスト・センター内 営業所所在地：アメリカ合衆国ニューヨーク州 10017、ニューヨーク、スイート 1800、マディソンアヴェニュー285	
(3) 代表者の役職・氏名	ジェネラルパートナー：グリーンオークパートナーズ エルエルシー、 マネージャー：ソニー・カルシ	
(4) 事業内容	不動産投資及びアドバイザー	
(5) 資本金	6,770 万米ドル	
(6) 設立年月日	平成 22 年 5 月 28 日	
(7) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

⑦ (誤) ②合同会社きよみインベストメント

(平成 30 年 10 月 31 日現在)

(1) 名称	合同会社きよみインベストメント
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目 2 番地 3 号
(3) 代表者	代表社員 きよみ一般社団法人
(4) 事業内容	不動産及の取得、保有、および処分。 不動産の事業を行う各種法人または各種組合の有価証券（みなし有価証券を含む）その他の出資・持分および金銭債権ならびにその他の投資用資産の取得、保有および処分。
(5) 資本金	10 万円
(6) 匿名組合出資者	グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社 100%

↓

(正) ③合同会社きよみインベストメント

(平成 30 年 10 月 31 日現在)

(1) 名称	合同会社きよみインベストメント
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目 2 番地 3 号
(3) 代表者	代表社員 きよみ一般社団法人
(4) 事業内容	不動産及の取得、保有、および処分。 不動産の事業を行う各種法人または各種組合の有価証券（みなし有価証券を含む）その他の出資・持分および金銭債権ならびにその他の投資用資産の取得、保有および処分。

(5) 資本金	10 万円
(6) 匿名組合出資者	該当事項はありません。 <sup>2</sup>

⑧ (誤) 該当無し

↓

(正) 平成 30 年 11 月 26 日付で実行される匿名組合出資の出資比率は、グリーンオークが運用するファンドのケイマン諸島籍 SPC が 90%、株式会社レッド・プラネット・ジャパンが 10%となります。

⑨ (誤) 今回の出資と同時に、当社は、有する広島県広島市の土地を当社とグリーンオークによる新ホテルの共同開発を容易にするために売却することに合意しました。その関係で、一旦当社が土地を信託受益権化したうえで、その信託受益権を広島のホテル所有のために設立された合同会社に約 13.1 億円で売却いたします。売却先は、きよみが匿名組合出資を実施する合同会社（以下「きよみ 1 号」と言います。）であります。

きよみ 1 号は今後、金融機関からのノンリコースローンときよみからの匿名組合出資金を活用して、同土地に「レッドプラネットホテル広島」を建築し、竣工後は RPHJ が貸借をして運営いたします。当ホテルのプロジェクトは総額で約 37 億円を見込んでおり、うち 75% を借り入れて賄う計画をしております。

なお、きよみ 1 号の詳細は下記のとおりです。

(平成 30 年 10 月 31 日現在)

(1) 名称	合同会社きよみインベストメント 1 号
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目 2 番地 3 号
(3) 代表者	代表社員 きよみ一般社団法人
(4) 事業内容	不動産及の取得、保有、および処分。 不動産の事業を行う各種法人または各種組合の有価証券（みなし有価証券を含む）その他の出資・持分および金銭債権ならびにその他の投資用資産の取得、保有および処分。
(5) 資本金	10 万円
(6) 匿名組合出資者	合同会社きよみインベストメント 100%

↓

(正) 今回の出資と同時に、当社は、有する広島県広島市の土地を当社とグリーンオークによる新ホテルの共同開発の取り組みを容易にするために売却することに合意しました。その関係で、一旦当社が土地を信託受益権化したうえで、その信託受益権を広島のホテル所有のために設立された合同会社に約 13.1 億円で売却いたします。売却先は、GK きよみが匿名組合出資を実施する合同会社きよみインベストメント 1 号（以下、「GK きよみ 1 号」と言います。）であります。

GK きよみ 1 号は今後、金融機関からのノンリコースローンと GK きよみからの匿名組合出資金を活用して、同土地に「レッドプラネットホテル広島」を建築し、竣工後は RPHJ が貸借をして運営いたします。当ホテルのプロジェクトは総額で約 37 億円を見込んでおり、

うち 75%を借り入れて賄う計画をしております。

なお、GK きよみ 1号の詳細は下記のとおりです。

(平成 30 年 10 月 31 日現在)

(1) 名称	合同会社きよみインベストメント 1号
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目 2 番地 3 号
(3) 代表者	代表社員 きよみ一般社団法人
(4) 事業内容	不動産及の取得、保有、および処分。 不動産の事業を行う各種法人または各種組合の有価証券(みなし有価証券を含む)その他の出資・持分および金銭債権ならびにその他の投資用資産の取得、保有および処分。
(5) 資本金	10 万円
(6) 匿名組合出資者	<u>該当事項はありません。<sup>3</sup></u>

⑩ (誤) 該当無し

↓

(正) <sup>3</sup>平成 30 年 11 月 26 日付で実行される匿名組合出資の出資比率は、合同会社きよみインベストメントが 100%となります。

以 上

(別添)

平成 30 年 11 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング  
(JASDAQ コード : 3350)  
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久  
電 話 050-5835-0966

### 合同会社への出資及び固定資産の売却に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社（以下、「グリーンオーク」と言います。）と合弁で、最大 6 棟のホテルを開発するための合同会社（以下、「SPC」と言います。）へ出資する決議をいたしました。うち 1 棟については当社が既に広島県広島市に保有するホテル用地をその SPC の子会社に売却することにより、共同開発する最初のホテルとなります。予定する合弁事業の詳細は以下の通りです。

#### 記

##### 1. 出資の経緯

当社は、現在国内にてホテル 5 棟、合計 704 客室を運営しており、さらには 2020 年までにフィリピンのマニラにてホテル 2 棟（合計 575 客室）、札幌市と広島市に各 1 棟（212 客室及び 160 客室）を順次開業し、事業基盤の拡大に努めております。今後想定されるインバウンド旅行者及び国内旅行者増加並びに国内のホテル事業への需要の増加は、当社にとって事業成長の絶好の機会であります。

そこで当社は、ホテル事業の拡大をさらに加速する手段として、グローバル及び日本市場において不動産投資事業を手掛けるグリーンオークグループと共同で、SPC に出資することを決定いたしました。この SPC の目的は、ホテル事業用不動産を購入し、ホテルを建設することです。本 SPC には、当初、グリーンオークが運用するファンドと当社が、それぞれ 13 億円と約 1.4 億を出資<sup>1</sup>、最終的にはそれぞれ 50 億円と 555,555,555 円を出資する予定です。この資金は、当社及びグリーンオークによる審査及び承認を得ることを前提として、広島を含むホテルの取得・建設資金に充当する予定です。また、当社の連結子会社である株式会社レッド・プラネット・ホテルズ・ジャパン（以下「RPHJ」と言います。）がホテル施設を賃借し、運営を行っていく予定です。

---

<sup>1</sup> 平成 30 年 11 月 26 日付で匿名組合出資を実行

さらに、上記 SPC は、各ホテルの建設に合わせて金融機関からノンリコースローンを調達していく計画を立てております。当社のこれまでの実績に照らし合わせ、約 75% のレバレッジが可能な場合は、ノンリコースローンで約 167 億円の調達が可能になるため、今後 2 年間で最大 6 棟の新ホテル開発資金に充てる資金は、総額 222 億円と想定されます。なお、同 6 棟には当社の広島の場合が含まれておりますが、札幌は含まれておりません。

当社のブランドであるレッドプラネットは、フィリピン、タイ、インドネシアでも事業を展開しており、レッドプラネットブランドは 2010 年以降確立されたものとなっており、また、これらの国々は日本のインバウンド旅行客の主要な供給マーケットです。

## 2. 出資のスキーム

当社及びグリーンオークが運用するファンドが、新たに設立された SPC である合同会社きよみインベストメント（以下、「GK きよみ」と言います。）と匿名組合契約を結び、前述のとおり金額の割合で GK きよみへの匿名組合出資を行います。

その後、新たなホテルが建築される度に、GK きよみの関連会社となる個別の合同会社を設立し、GK きよみが匿名組合契約を通してそれらの合同会社への出資を行います。各ホテルの合同会社では、匿名組合出資からの資金のほか、金融機関からのノンリコースローンを活用し、レッドプラネットブランドのホテルを建築します。

当社の連結子会社である RPHJ は、それぞれの新ホテルを賃借し、運営します。各合同会社は、したがって、RPHJ から定期的に賃借料を受領します。GK きよみは、各ホテルの個別の合同会社の収益から匿名組合出資の配当を受け取ります。GK きよみは、さらに、当社とグリーンオークが運用するファンドに対して、匿名組合出資の出資比率に応じた金額を配当として支払います。

当社とグリーンオークは合弁出資を上記の金額を超えて拡大することを選択でき、その決定は上記の資金がすべて投資された後に行われます。

上記のスキームにおいて、当社は、主にホテル用地の取得及び開発に責任を持ち、一方 GK きよみ及び各ホテルの個別の合同会社から投資一任業務を受託するグリーンオークは、投資ストラクチャーの管理と運営及び本件投資において必要となるノンリコース借入金の調達を主に行います。

RPHJ によるそれぞれのホテルの賃借期間は 20 年を予定しており、満了時には賃借の再契約に向けての協議を持つこととなっております。

なお、グリーンオークは、グリーンオークグループにおける日本での投資拠点であり、金融商品取引業登録（関東財務局（金商）第 2213 号）、総合不動産投資顧問業登録（総合・第 112 号）に基づき、主として、米国法人であるグリーンオーク リアル エステート エルピー（以

下、「GOLP」と言います。)が組成するファンド資金を活用して、日本における投資運用活動を行っております。GOLPは、米国、欧州、アジアにおいて、不動産関連資産を対象とした投資ファンドを多数組成しており、現在、アジアにおいては、「GreenOak Asia Fund II」(エクイティー規模 6億55百万米国ドル)を運用中です。

なお、グリーンオーク、GOLP及びGKきよみの概要は下記のとおりであります。

① グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社

(平成30年9月30日現在)

(1) 名称	グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社	
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目2番地3号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 シュミット・フレデリック・カツロ、 ダニエル・クリーブス	
(4) 事業内容	金融商品取引法に基づいた投資に関する助言及び運用	
(5) 資本金	1億円	
(6) 設立年月日	平成20年11月28日	
(7) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

② グリーンオーク リアル エステート エルピー

(平成30年9月30日現在)

(1) 名称	グリーンオーク リアル エステート エルピー	
(2) 所在地	登記所在地： アメリカ合衆国デラウェア州19801、ウィルミントン、オレンジストリート1209、コーポレーション・トラスト・センター内 営業所所在地：アメリカ合衆国ニューヨーク州10017、ニューヨーク、スイート1800、マディソンアヴェニュー285	
(3) 代表者の役職・氏名	ジェネラルパートナー：グリーンオークパートナーズ エルエルシー、 マネージャー：ソニー・カルシ	
(4) 事業内容	不動産投資及びアドバイザー	
(5) 資本金	6,770万米国ドル	
(6) 設立年月日	平成22年5月28日	
(7) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。

	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

③ 合同会社きよみインベストメント

(平成 30 年 10 月 31 日現在)

(1) 名称	合同会社きよみインベストメント	
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目 2 番地 3 号	
(3) 代表者	代表社員 きよみ一般社団法人	
(4) 事業内容	不動産及の取得、保有、および処分。 不動産の事業を行う各種法人または各種組合の有価証券（みなし有価証券を含む）その他の出資・持分および金銭債権ならびにその他の投資用資産の取得、保有および処分。	
(5) 資本金	10 万円	
(6) 匿名組合出資者	該当事項はありません。 <sup>2</sup>	
(7) 設立年月日	平成 30 年 6 月 20 日	
(8) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

3. 当社が所有する広島市の土地の売却

今回の出資と同時に、当社は、有する広島県広島市の土地を当社とグリーンオークによる新ホテルの共同開発の取り組みを容易にするために売却することに合意しました。その関係で、一旦当社が土地を信託受益権化したうえで、その信託受益権を広島のホテル所有のために設立された合同会社に約 13.1 億円で売却いたします。売却先は、GK きよみが匿名組合出資を実施する合同会社きよみインベストメント 1 号（以下、「GK きよみ 1 号」と言います。）であります。

GK きよみ 1 号は今後、金融機関からのノンリコースローンと GK きよみからの匿名組合出資金を活用して、同土地上に「レッドプラネットホテル広島」を建築し、竣工後は RPHJ が貸借

<sup>2</sup> 平成 30 年 11 月 26 日付で実行される匿名組合出資の出資比率は、グリーンオークが運用するファンドのケイマン諸島籍 SPC が 90%、株式会社レッド・プラネット・ジャパンが 10%となります。

をして運営いたします。当ホテルのプロジェクトは総額で約 37 億円を見込んでおり、うち 75% を借り入れで賄う計画をしております。

なお、GK きよみ 1 号の詳細は下記のとおりです。

(平成 30 年 10 月 31 日現在)

(1) 名称	合同会社きよみインベストメント 1 号	
(2) 所在地	東京都港区北青山一丁目 2 番地 3 号	
(3) 代表者	代表社員 きよみ一般社団法人	
(4) 事業内容	不動産及の取得、保有、および処分。 不動産の事業を行う各種法人または各種組合の有価証券（みなし有価証券を含む）その他の出資・持分および金銭債権ならびにその他の投資用資産の取得、保有および処分。	
(5) 資本金	10 万円	
(6) 匿名組合出資者	該当事項はありません。 <sup>3</sup>	
(7) 設立年月日	平成 30 年 10 月 29 日	
(8) 当社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

#### 4. 今後の主な日程

2018 年 11 月 27 日 当社が所有する広島市土地の信託受益権売買実行  
2020 年夏頃 レッドプラネット広島開業

#### 5. 今後の見通し

本件投資は、それにより開発されるホテルが営業を開始するまでの間、当社の財務諸表に影響を与えることはありません。但し、平成 30 年 12 月期において、本件土地売却に伴い微少額の固定資産売却益が発生する見込みです。今後、具体的に開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

<sup>3</sup> 平成 30 年 11 月 26 日付で実行される匿名組合出資の出資比率は、合同会社きよみインベストメントが 100%となります。

以上